

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 4月 15日

事業所名 きらめき大湾東

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	3	0	必要に応じ別室にて過ごせるスペースを準備しています。	十分に広い室内空間で過ごしています
	2	職員の配置数は適切である	5	3	1	制度上の配置基準は満たしているが、必要に応じて他事業所からのヘルプも要請している。	制度上の配置基準は満たしている。適正人員数で、満足のいくケアができるよう努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	0	バリアフリーは問題ないです。	スロープや広い出入口が整っている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4	1	ホワイトボードを上手く活用しています。	申し送り帳確認、口頭での周知。事業所会議での周知を図る
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4	0	意見シートをわかりやすい場所に設置します。	意見箱を設置し、保護者からの意見を伺い、迅速に対応を心掛ける
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	4	0	毎年公開しております。	改善を行い4月中にHPにて公開予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	0	違う部署の職員に評価をして貰っている。	第3者は設置していない。保護者からのご意見権を参考に改善を図ります
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	研修動画を見ている。	毎週金曜日に15分の社内研修を実施
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0	更新時に再アセスメントを行い計画書に反映しています。	モニタリングへ参加し情報共有や連携を行い計画書を作成する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	0	決められたアセスメントシートで毎年確認している。	使用はしているが、職員間での情報共有に不足があるため、支援会議を通して活用を図る
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	0	個々のニーズに合わせて考えています。	支援会議にて作成
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	4	0	利用児にリクエストを聞いたり、職員の提案を出し合って決めている。	児童が飽きないように活動に変化を持たせていきます
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	4	0	個別活動内を取り入れている。	リーダーが他スタッフと相談しながら決定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	1	0	毎月活動プログラムの見直しを行っている。	計画書に基づいたプログラムを個別活動に取り入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	1	0	児童お迎え前に申し送りを行っている。	申し送りや活動内容を当日のリーダーが中心となり担当しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3	2	申し送りホワイトボード活用し周知しています	当日は必要と思われる時申し送りをしています
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2	0	当日のリーダーにより、児童記録日報を作成している。	日報に個別の支援記録を記載。その際できたこと、できなかったことを記載することで振り返りが可能な状態にしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	1	0	相談員さんと連携をしている。	定期的にモニタリングを行いサービス計画について話し合っている

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	5	0	ガイドラインの基本的活動に合わせたプログラムを実践している。	ニーズに応じた活動を組み合わせ、PDCAサイクルを実践しています
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	1	0	児発管の研修を受けている者が参加している。	相談員や専門性のあるスタッフが参加しています
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0	担当により学校の情報を行っている。トラブル時は早急に対応している。	申し送りにて情報共有し保護者へ確認対応を行っています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4	5	0	当事業所では医療的ケア児の受け入れは行っていない。	現在、医療的ケアの必要な児童は利用していないが、必要に応じて検討する
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	5	0	・児童発達支援事業所等さんとの連携を行っている。 ・相談員さんを通して情報を共有している。	保護者、計画相談員より要望により参加しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3	0	保護者さま同意の上、情報をまとめて共有している。	必要に応じて、相談員等に支援記録やアセスメント等の情報提供を行っています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	4	0	研修などに参加している。	研修に参加しております
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	2	活動プログラムに組み込んでいる。・地域の公園を利用している。	コロナ禍が落ち着いたときに再開したいと考えています
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	2	出来るときに参加している。	現時点では、職員の勤務時間の都合上参加できないので、改善策を検討します
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1	0	帰りの申し送りや、モニタリング会議、連絡帳、LINEなどで連携を取っている。	児童送迎時に申し送りし、必要に応じて連絡帳でも案内しています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	5	1	ペアレントプログラム研修の機会などあればへ参加します。	ペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて個人的に行っています	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	4	0	契約時に保護者面談のときに、説明を行っている。	初回利用にあたって管理者で行っています。わからないことが無いようにガイドラインを確認する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	4	0	事業所側からも定期的に困り感などはないですか？と声をかけている。	適切な支援の方向性を知るため、家庭では見せない児童の様子を随時報告し、定期的に面談や助言を行います。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	2	親子交流会を計画しています。	コロナ禍の状況をみながら開催に向けて検討していきたいと思えます
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1	0	・苦情ボックスを設置している。 ・苦情があった場合は、迅速に対応している。	連絡帳や、送迎時での保護者との会話の中でこまめに報告しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	0	毎月活動プログラムの内容を発信している。・プログラム3か月に一回発信している。	連絡帳を用いて、学校の行事等を保護者から聞き取り、職員に周知し、保護者に対しても連絡帳やホームページにて発信しています
	35	個人情報に十分注意している	8	1	0	鍵付きの書庫に入れて保管している。	個人ファイルに関する書類は、鍵付きキャビネットに保管されてあります
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	ジェスチャーや絵カード、写真などを使いコミュニケーションを取っています	絵カード等、様々な工夫を通して児童、保護者とのコミュニケーションを取っています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	1		機会があれば地域住民の招待を行いたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	4	0	玄関横にマニュアルを設置します。	マニュアルはすべて完成済みだが、保護者や職員への周知が不十分なため徹底を図る
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	毎月活動で各種避難訓練を行っています。	毎月一回防災、火災、不審者避難訓練を行っています
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	0	年に数回虐待の研修を行っている。	木曜日の職員研修にて実施し、全職員が受講しています
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	3	0	事前に同意書、契約書で説明。	現時点において、同意書はすでに作成しているが、該当児童はなし。しかし、やむおえず、該当児童が発生した場合、保護者に3つの条件を説明し理解を図る。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	アレルギーがある子は家庭の指示のもと対応している。	保護者からの聞き取り、指示の上で対応しております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	3	0	毎月ヒヤリハットがないか確認している。	スタッフ、上司への報告を行っております。